

2023 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

国語『国語総合』

問題冊子

受 験 番 号							
2	3						

答案作成上の注意

1. 国語『国語総合』1科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は1～15頁、解答用紙は1枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

問題一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

珍道具

傘を買いたいのに買えない、ということが、かれこれ五年くらい続いている。

傘がないわけではない。むしろ有り余るくらいにある。だがそれらはすべてビニール傘だ。透明で、白の把手のところに謎のアルファベットがついていて、A にワンタッチ式。そんな傘ばかりがどんどん殖えていく。いい歳の大人がそんなことではいけない。ちゃんとした傘を一本買おう。

そう思って店まで行く。ものすごくたくさん「ちゃんとした傘」が並んでいて興奮する。布でできた、把手がプラスチックでない、さまざまな色と形と素材の傘たち。^(ア)吟味に吟味を重ねて数本を選び出し、鏡の前でああでもないこうでもないと思いついて、うっかりこう思ってしまう。

^(イ)傘って、なんか滑稽じゃないか？

そう思った瞬間、手にしていた素敵な傘は珍道具と化し、それを差している自分も珍な生き物と化す。

傘はとても便利な道具だ。

雨が降れば濡れる。濡れないためには室内や^(イ)軒下や木の下で雨宿りするしかない。でもそれだと好きなところに行けない。それをこのように棒の先に屋根的なものをつけ、雨宿りをポータブル化することによって、濡れずにどこでも好きなところに行くことを可能にした。すごい工夫だ。でもその工夫がどこかいじましくて滑稽だ。

傘だけではない。扇風機なんかもそうだ。

暑いときに扇状のものであおげば涼しくなる。でも手であおぐと疲れるし手がぶさがつて他のことができない。そこでこうやって扇を台に固定し手のかわりにモーターで動かし、しかも扇も四枚に増やしてみた。とても便利。でもやっぱり滑稽だ。

もちろん扇風機が生まれるまでには、その考案者による⁽¹⁾なみなみならぬ努力があったの
だろう。

傘にしたってそうだ。雨の日に濡れずに外を歩く方法はないか。たぶん誰かがそのこと
について真剣に考えた結果、「そうだ、雨をしのげるものを持ち運びすればいいんだ」と思いつ
いたのだ。そこから先は試行⁽²⁾錯誤の連続だった。ミニチュアの屋根を頭の上にくくりつけ
て瓦の下敷きになったり、木を丸ごと一本抱えて歩いて腰を痛めたり、それで「^(注1)プロジェク
トX」が一本作れるほどの苦難と努力の果てについに完成したのが、この傘と呼ばれる道具
だった。

だが傘にしても扇風機にしても、そうした努力の元になっているのは、「いろいろな欲求を
一度に満たしたい」という欲張りさと、「^(注2)楽しい」というズボラさなわけで、それと地道な
創意工夫とのギャップが、どうにもいじましさを滑稽さを生んでしまう。

そう考えるとたいていの道具は滑稽だ。

掃除機。洗濯機。エスカレーター。万年筆。電動泡立て器。車。ぜんぶ余裕で珍道具だ。
靴。バケツ。くまで。椅子。眼鏡。かばん。コップ。耳栓。ハンカチ。ちり紙。これらだっ
て、そういう目で見れば、やっぱり珍だ。

でもならば一体どうすれば珍でなくなるのか。身一つなら珍じゃないのかといえは、じゃ
あたとえば爪はどうなのか。人類の祖先が、「あー果物の皮をむいたりするのに、ここの先っ
ぽが固ければ楽なのに」と思つて、何十万年もかけて指の先に固いものを装備することに成
功した、それが爪なのだとしたら、やっぱり珍なんじゃないのか。そうなつてくると、髪も、
歯も、舌も、手指も、いや人体の形状そのものが珍なんじゃないか。

そこまで考えるともう⁽³⁾傘どころの騒ぎではなくなつてしまい、持っていたのをそつと元
の場所に⁽⁴⁾戻す。

上映

死ぬ間際には、それまでの人生の思い出が走馬灯のように目の前に立ち現れるとよく言われる。

その走馬灯の準備を、そろそろしておいたほうがいいのではないかと最近思うようになった。

死ぬ時はたぶん苦しい。どこかが痛いかもしれないし呼吸ができないかもしれない。血とか内臓とかが出ていたりするかもしれない。だったらせめて目の前で上映されるシーンくらいは、楽しいものや愉快なもの、ドラマチックなものだけで構成されていてほしい。そのほうが気がまぎれるし、いい人生だったなあと思いながら死ぬことができようというものだ。

しかし人はいつ死ぬかわからない。右のようなことをただ⁽³⁾漠然⁽³⁾と思っているだけではだめで、いつ死が襲ってきても最高の上映ができるように、抜かりなく準備をしておく必要がある。

だから、まずは^(c)走馬灯の手入れ。

歯車の一つひとつに油を差し、錆びついた箇所がないか注意ぶかく点検する。回転部を回してみ、滑らかに動くかどうか確かめる。柔らかな布でレンズの曇りをぬぐい、電球が切れていたら取り替える。Bの時にリールがひっかかったり、うまく回らなかったり、スクリーンが真っ暗だったりということのくれぐれもなきように。

その一方で、^(注2)ソフト面の充実にも日々これ努める。

たとえば寝る前などに心静かに自分の⁽⁴⁾来し方を振り返り、楽しかったこと、嬉しかったことを思い出し、それらのシーンをつなげてフィルムに編集する。

いろいろあつたはずなのだが、^(d)いざ思い出そうとするとけつこう出てこない。

楽しかったこと。

楽しかったこと。

小学校四年のとき、隣の席に座っていた子が、急に「鼻つてくさい！」と言いだした。半信半疑でやってみた。鼻の先端を指で下向きに押さえ、唇をタコのようにすぼめて鼻から息

を吸う。ほんとだ。すごく変なおいがある。脂がうつすら焦げたような。そのときの新鮮な驚き。いつもおいを嗅いでいる鼻そのものがくさいだなんて、灯台もと暗しとはこのことだ！

楽しかったこと。もっと人生の最後を飾るにふさわしい、華やかな。

十年ほど前の夏、まだ犬が生きていたころ、夕方散歩に連れていった。薄暗い竹藪^{たけぶ}の横を通るとき、下草の茂みの中で何かびくつと動いた。立ち止まって足をどんと踏みならした。またびくつとした。どんと踏む。びくつとする。なんだか楽しい。どん。びく。どん。びく。やめられなくなってきた。どんびくどんびくどんどんどんびく。どれくらいそうしていたか、気がついたら日が暮れていて、夕焼けがすごくきれいだった。

中学のころ、唾シャボン玉飛ばしがはやった。みんな競ってシャボン玉作りの技を磨いた。⁽⁴⁾「猛者」になると一度飛ばしたやつをまた舌で受け止めて、何度でも繰り返して飛ばしたりした。だが私は飛ばすどころか、満足にシャボン玉さえ作れなかった。でも一度だけ、放課後みんなで窓にもたれて話しているときに、何気なくやったら成功した。人生初の唾シャボン玉は風に乗って、C ほど高くふわふわ舞っていった。

だめだもう目が閉じる。

まだ何も巻かれていない空のリールがカラカラと回る音を聞きながら、今日もまた睡魔に呑まれる。

(岸本佐知子『なんらかの事情』による)

(注1) 「プロジェクトX」——NHK総合テレビで二〇〇〇年～二〇〇五年まで放映されたドキュメンタリー番組。高度経済成長期の製品開発プロジェクトを中心に、無名の人々が難問に直面し、努力と挑戦で克服し成功した過程を紹介していた。

(注2) ソフト——コンピュータや記録メディアといった物理的な機械や装置と対比される、処理プログラムや映像・音楽などのコンテンツのこと。

問一 傍線部(1)～(4)の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 軒下
- (2) 錯誤
- (3) 漠然
- (4) 猛者

問二 傍線部(ア)～(ウ)の語句について、本文中での意味として最も適切なものを次の①～⑤よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 吟味

- ① しらべ確かめる
- ② よく味見をする
- ③ 照らし合わせる
- ④ 詩歌を味わう
- ⑤ ため息をつく

(イ) なみなみならぬ

- ① くり返しの
- ② ひどく真剣な
- ③ 手抜きしない
- ④ とびぬけている
- ⑤ 人目に触れない

(ウ) 来し方

- ① 今後の行き先
- ② 身の振りかた
- ③ 過ぎ去った過去
- ④ 恥ずかしい失敗
- ⑤ 望ましいありよう

問三 空欄 ～ に当てはまるものとして、最も適切なものを次の①～⑧よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使ってはならない。

- ① 華麗 ② 最悪 ③ 無駄 ④ 肝心
⑤ 正確 ⑥ 意外 ⑦ 単純 ⑧ 必須

問四 傍線部(a)「傘って、なんか滑稽じゃないか？」とあるが、著者がそう考えたのはなぜか。その理由として最も適切なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 自分が有り余るほど持っているのは、どれも傘を忘れて出かけたときにやむを得ず買ったビニール傘ばかりであったことを思い出してしまったから。
② ただ傘を買いに来ただけなのに、自分が持っていない「ちゃんとした傘」が並んでいる様子に興奮しているのが恥ずかしくなってしまったから。
③ 本来は濡れずに移動する道具にすぎない傘が、さまざまな色や形や素材でちゃんとした品物に見せようと作られていることに気づいてしまったから。
④ 雨がやんでから移動すればすむはずなのに、わざわざ雨宿りをポータブル化する工夫を重ねるといふ傘の開発経緯を想像してしまったから。
⑤ もともとビニール傘で間に合うはずの自分が、いい歳の大人として素敵な傘を差すためにあれこれ選ぼうとする姿を冷静に見てしまったから。

問五 傍線部(b)「傘どころの騒ぎではなくなってい、持っていたのをそつと元の場所に戻す」とあるが、著者が傘を元の場所に戻したのはなぜか。その理由として最も適切なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 考案者が雨をしのぐ傘を完成させるまで試行錯誤を繰り返してきたことを想像し、安易な気持ちで購入しようとした自分を恥ずかしく思ったから。
② 傘を考案した人々のいじましく滑稽な苦難と努力の様子を想像し、それを差して歩く自分の姿もいじましく滑稽に思えて笑いだしそうになったから。
③ 身の回りにあるものや人体の形状もみな珍道具であるかもしれないと想像し、ちゃんとした傘を購入するという動機が失せてしまったから。
④ たとえちゃんとした傘であっても珍道具を差して歩けば自分も珍な生き物に見られることに気づき、自分を守るには購入を避けるべきと判断したから。
⑤ 人類の祖先が爪の装着に成功したように、自分も雨くらいで騒がず傘なしで対処する経験を重ねて身を珍にすることを追求しようと決意したから。

問六 傍線部(c)「走馬灯の手入れ」とあるが、日本では本来「二重枠の内側に設置された影絵が光源の熱で回転し、外枠のスクリーンに写るよう細工された照明器具」を意味する「走馬灯」という語が「死に際に人生の様々な情景が次々と浮かび去っていく」の意味で使用されることが多い。著者がこの比喩を取り上げた背景として**当てはまらないもの**を次の①～⑤より**二つ選び**、記号で答えなさい。

- ① 目前に死が迫る苦痛の中でも、それを感じさせないほど鮮明な思い出の画像を脳裏に浮かべるため、日頃から練習しておいたほうがよいということ。
- ② そろそろ自分の死を意識する年齢になってきて、その準備を考える気持ちになり、まず頭に浮かんだ「走馬灯」の想像を具体的にしてみたこと。
- ③ 誰しも自分の死の間際にそれまでの人生の思い出が流れてくるという「走馬灯」が実際に自分にもあるのか試してみたくなることがあるということ。
- ④ いつ来るかわからない死に対する不安や心配に気づき、いい人生だったと思いがら安らかに死の瞬間を迎えるには何が重要かを考えたということ。
- ⑤ 死の間際に現れるという「走馬灯」の手入れ方法は世間であまり知られていないので、文筆家の役目として人々に発信しておくべきということ。

問七 傍線部(d)「いざ思い出そうとするとけつこう出てこない」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤より**一つ選び**、記号で答えなさい。

- ① 死ぬ間際に現れるという走馬灯の上映準備として寝る前に心静かに思い出す練習をしているが、いつも思い出す途中で睡魔に負けてしまうということ。
- ② 寝る前に思い出せるのは確かに楽しかった内容ではあるのだが、死ぬ間際の走馬灯として上映するのにふさわしいといえるわけではないということ。
- ③ 死ぬ間際に現れる走馬灯には楽しかったことや嬉しかったことを思い出し編集するという手入れが必要だが、それを実際に試すのは難しいということ。
- ④ 死ぬときの身体的な苦痛がまぎれる走馬灯の上映をめざしているのに、思い出せるのは鼻や唾など身体に関わる内容になりがちであるということ。
- ⑤ 死ぬ間際に現れる走馬灯の準備をしているが、楽しかったシーンをつなげる編集がうまくできず無関係な場面の連続でリールは空のままということ。

問八 この文章における表現と、そこで示されるものの関係が合致するものを次の①～⑤より二つ選び、記号で答えなさい。

- ① 傘の購入や走馬灯の上映で葛藤する姿を丁寧に描写することで、何気ない日常場面を掘り下げて見つめようとする著者の深い視点が示されている。
- ② 傘の購入や人生の走馬灯など日常経験するエピソードに新たな発見を引き出すことで、概念の見直しを促そうとする著者の強い意欲が示されている。
- ③ 傘の購入や走馬灯の上映などあまり描写されないエピソードを取り上げることで、読者と経験の共有をはかろうとする著者の新たな挑戦が示されている。
- ④ 短文や体言止め、リズムカルな改行の効果的な使用により、肉声で語りかける代わりに文字で伝えようとする著者のぶれない決意が示されている。
- ⑤ 短文の連続や体言止め、擬音の効果的な使用により、場面の明快な想像をうながそうとする著者の鋭い感性が示されている。

問題一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「みんないっしょ」の原則

それでは、生徒であることは学校での人間関係にどのような影響を与えるのでしょうか。

この問題を考えるために、生徒という役割を演じる「生徒化」という見方をとってみましょう。そうすると何が見えてくるのか。

生徒化には互いに対立する二つの原則（もととなるルール）が入り込んでいる、と見ることがができます。第一の原則は、学校の生徒であることが、「みんないっしょ」であることを求めることです。学校が集団生活の場であることは、前にも述べました。授業にしても、朝礼にしても、修学旅行や運動会などの行事にしても、生徒全員が「みんないっしょ」に同じことをするように求められる場面がたくさんあります。学校は、ほかの場所と比べて、みんなが⁽¹⁾イッセイに何かをすることの多いところですよ。制服にしても、持ち物の規則にしても、「みんないっしょ」に見えるようなはたらきをしています。

さらに、「みんないっしょ」の原則には、みんなが協力することや、みんな仲よくすることが含まれます。イッセイに何かをするときにお互いに助け合うとか、いっしょにいる間、みんなが友だちになるといったことが期待されるのです。

仲よく、協力しあつて、みんなでイッセイに何かをする。学校以外の場所だったら、これほど「みんないっしょ」であることは期待されません。ところが、学校では、「みんないっしょ」がいいことであり、生徒という役割には、この「みんないっしょ」の原則が期待されるのです。

「ひとりひとり」の原則

この原則にしたがえば、生徒化は、ほかの人と同じように、ほかの人と協力しあつて、「同じであること」を基本にした人間関係をつくりあげます。学校の中では、少なくとも表面上

は、みんなと同じであること、みんなといつしよに何かをすること、みんなと仲よくすることが期待されるのです。「少なくとも表面上は」、といったのは、⁽⁶⁾「ドラマと同じように、本人が本当にその役通りに思っているかどうかは別だからです。それでも、形のうえではその役を演じることが期待されます。」

《ア》、生徒であることには、この「みんないつしよ」の原則と対立するもう一つの原則も含まれています。それは「ひとりひとり」の原則、と呼ぶことができます。

みんなでいつしよに授業を受け、いつしよに試験を受けても、成績はひとりひとりにつけられます。学校が勉強するところである以上、勉強の結果をひとりひとり別々に評価するということはできません。《イ》、中学校のように、その成績がどの高校に入れるのかを決めるような場合、ひとりひとりにつけられる成績の意味はとても気になるものになります。卒業後の進路が、その成績によって分けられ、同級生の間でも、その結果、違う高校に行くようになるからです。

ところが、この「ひとりひとり」の原則は、明らかに「みんないつしよ」の原則とするとく対立します。一方では、みんなが同じであることを基本に、みんながいつしよに、仲よく協力することが求められる。ところが他方では、ひとりごとに違う評価が行われ、その結果、ひとりひとり違う進路に分かれていく。《イ》、「ひとりひとり」の原則のほうは、生徒がその役をどう演じるかというように、生徒の自由になるわけではありません。その役を受け入れても、受け入れなくても、学校から与えられてしまうものだからです。

もうひとつの「ひとりひとり」

「ひとりひとり」の原則は、先生が生徒一人ずつに成績の評価をしたり、生徒がそれに応じた卒業後の進路に進んだりすることだ、という話をしました。最近、これとは違うもうひとつの「ひとりひとり」の原則が強くなっています。「個性の尊重」と呼ばれる教育の考え方をもとにした原則です。生徒たちはそれぞれ違う個性(自分らしさ)をもっている。《ウ》

それを大切にしようという考え方です。

この個性尊重をベースとした「ひとりひとり」の原則にしたがえば、それぞれの生徒の自分らしさをできるだけ生かそうということになります。生徒たちの意見を大切にする、生徒が自分で選んだことを尊重する、ひとりひとりの違いを認めるなど、勉強の成績以外の面でも、ひとりひとり違う扱いをしようというのです。

この、もうひとつの「ひとりひとり」の原則も、「みんないっしょ」の原則と対立します。ひとりひとりの違いを認めてしまうと、「同じであること」を基本に、みんなでいっしょに何かをやったり、協力し合うことがむずかしくなるからです。「私はこうしたい」「自分ならそんなことはやりたくない」といった生徒ひとりひとりの違いを大切にしたら、「みんないっしょ」にはできなくなります。ひとりひとりの違いを認めたくえで、なおかつ「みんないっしょ」をするのは、とてもむずかしいことなのです。

その意味では、最近の個性尊重をベースとした「ひとりひとり」の原則は、^(b)昔からの「生徒化」とは逆の方向を向いています。学校で集団生活をする生徒である以上、だれであれ「生徒である」という共通点をもとに、「みんないっしょ」にやってきた。ところが、今度は、もつと、ひとりひとり違った生徒になることが許されるのです。「ひとりひとり」を大切にすることが、どうやったら「みんないっしょ」と対立することなく、⁽²⁾チヨウワできるのか。このむずかしい問題が、中学生の人間関係のあり方に影響を与え、中学生の世界を複雑にしています。

「みんないっしょ」と「ひとりひとり」の対立

中学生の世界が複雑でむずかしくなるのは、これまでお話してきた、^(c)「みんないっしょ」の原則と「ひとりひとり」の原則とが、ほかの段階の学校に比べて、するどく対立してしまうからです。

小学校ではまだ、「ひとりひとり」の原則はそれほど生徒たちの人間関係に影響を⁽³⁾オヨボ

しません。私立中学校を受験する場合を⁽⁴⁾ノゾいて、成績で生徒たちが分けられてしまうこともほとんどありません。それに、もうひとつの「ひとりひとり」の原則を取り入れるのも、小学校では中学ほどむずかしくないでしょう。《エ》、小学校の段階では、まだ先生のいうことに生徒たちも従いやすく、そのうえでひとりひとりを大切にしても、それほど自分勝手な行動にはなりにくいからです。

A

ところが、中学校は、この両方の原則が同じくらい重要なのです。義務教育の一部ですから、「みんないっしょ」も大切です。その一方で、高校進学に向けて、「ひとりひとり」の原則も重要となります。《イ》、問題をもっとむずかしくしているのが、もうひとつの「ひとりひとり」の原則である「個性の尊重」です。「みんないっしょ」が強調される一方で、ひとりひとりの自分らしさも尊重しましょう、となるのです。

こうなると、どのように生徒としての役割を演じるのか。場面場面や、人それぞれで違ってきます。⁽⁴⁾その結果、生徒になるという「生徒化」のプロセスも複雑になっていくのです。

(荻谷剛彦『学校って何だろう―教育の社会学入門』による)

問一 傍線部(1)～(4)について、傍線をつけたカタカナと同じ漢字を含むものを次の①～⑤よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

(1) イツセイ

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 恩師のセイキヨを知った | ② 戦争にシユツセイする |
| ③ ショセイジユツを知る | ④ 選手を代表してセンセイする |
| ⑤ 国歌をセイシヨウする | |

(2) チヨウウ

- | | |
|--------------|------------|
| ① カチヨウフウゲツ | ② イツボンチヨウシ |
| ③ カンゼンチヨウアク | ④ チヨウレイボカイ |
| ⑤ ジユウコウチヨウダイ | |

(3) オヨぼし

- | | |
|---------------|--------------|
| ① ジユキユウが均衡する | ② 理想をツイキユウする |
| ③ 酸素をキユウニユウする | ④ 試験にキユウダイした |
| ⑤ 負傷者をキユウゴする | |

(4) ノゾいて

- | | |
|---------------|------------|
| ① 不安をジヨチヨウする | ② 医療費のゴウジヨ |
| ③ 安全のためジヨコウする | ④ 判断力のケツジヨ |
| ⑤ 学校のチツジヨを守る | |

問二 傍線部(a)「ドラマと同じように、本人が本当にその役通りに思っているかどうかは別だから」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 周囲の期待に応えることが学校での目的であるということ。
- ② 演じることで自然とそのような考えに近づくということ。
- ③ 脚本を逸脱するような個人の意思は求められないということ。
- ④ その役割に共感しているかどうかは不明であるということ。
- ⑤ 主役か脇役かの区別は本人の認識の外にあるということ。

問三 《ア》《エ》に入る言葉として最も適切なものを次の①～⑥よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使ってはならない。

- ① だから ② しかも ③ 例えば ④ というのも
⑤ しかし ⑥ さて

問四 傍線部(b)「昔からの『生徒化』とは逆の方向を向いています」とあるが、どういうことか。「共通性」と「個性」という用語を用いつつ、「～こと」に続くように二十五字以内で説明しなさい。

問五 傍線部(c)「『みんないっしょ』の原則と『ひとりひとり』の原則とが、ほかの段階の学校に比べて、するどく対立してしまう」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 小学校に比べて、中学校は自分らしさの評価が必要となる場面が少ないということ。
② 中学生は思春期という成長過程にあり、協調よりも対抗心を優先しがちだということ。
③ 中学生は反抗期に差し掛かる時期にあるため、先生のいうことに従いにくくなるということ。
④ 中学生は行動範囲が限定的であり、集団内での役割を演じることが容易であるということ。
⑤ 中学校は義務教育と任意教育の移行期にあり、両方の視点からの評価が必要になるということ。

問六 □ A □には次の一段落が入る。段落中の(A)～(F)には「小学」「中学」「高校」のいずれかが入る。本文の内容と合致するように、それぞれにあてはまるものを書き、文章を完成させなさい。同じ言葉を複数回使ってもかまわない。

また、(A)以上の学校段階でも、「みんないっしょ」の原則と「ひとりひとり」の原則とは、(B)ほどするどく対立しません。(C)以上になると今度は「みんないっしょ」の原則が(D)より弱くなり、「ひとりひとり」の原則を中心にできるからです。同じ生徒であっても、(E)生なら「みんないっしょ」を中心にしていればよいし、(F)なら「ひとりひとり」でやっていけるのです。

問七 傍線部(d)「その結果、生徒になるという『生徒化』のプロセスも複雑になっていく」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤より**一つ**選び、記号で答えなさい。

- ① それぞれが選択する生徒像が均一になってきてしまうということ。
- ② 生徒という役割に、これまで以上に主体性が求められるということ。
- ③ どういう役割を演じればよいか、一義的に決まらないということ。
- ④ 目的を達成するための手段が多様なものになるということ。
- ⑤ 「生徒」というより「学生」というほうが相応しいということ。

問八 次の①～⑤について本文の内容や特徴に一致していれば○を、一致していなければ×をそれぞれ書きなさい。

- ① 「みんないっしょ」の原則は、年次の低い段階ほど適用しやすいものである。
- ② 「ひとりひとり」の原則とは、一人一人の個性は尊重されるべきという社会的要請によって生じたルールである。
- ③ 「みんないっしょ」や「ひとりひとり」「生徒化」など、「」（カギ括弧）を用いることで、前提となる概念を際立たせている。
- ④ 「生徒化」とは、学校の成員である子供たちが、学校という集団に対して従順であることである。
- ⑤ 読者を成人と限定し、懐古的な表現を多用することで、それぞれの考えや行動を省みる機会を与えている。

2023 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

英 語

『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ』

問 題 冊 子

受 験 番 号							
2	3						

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 英語『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ』
1 科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は 2～6 頁，解答用紙は 1 枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

問題1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Many people find it difficult to understand the difference (ア) Britain and the United Kingdom. Simply (A) explain, (1) Great Britain (so called because it's the largest of the British Isles) is three nations: England, Scotland and Wales. The United Kingdom is four nations, "The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland."

So are all the people of the UK English? No they aren't! (イ) the people of all four nations may carry (ウ) is usually called a "British" passport, they are certainly not all English. The people of Northern Ireland are Irish. The people of Britain are British, but can also choose to call themselves (2) English (if they are from England), Scottish (if they are from Scotland) or Welsh (if they are from Wales). Be careful what you call them! (3) Scottish and Welsh people may get upset if you call them English!

(4) Britain has a long and complex history of immigration, and parts of Britain have become home to large populations of foreign settlers. Romans, Anglo-Saxons, Vikings, the French, the Dutch and Belgians — all have played a part in shaping Britain's culture. More recently (since the 1950's), large-scale immigration from former British colonies such as the West Indies, Pakistan and India has helped to create an even more multi-racial, multi-ethnic and multi-cultural society.

Britain's record of (B) accept immigrants hasn't always been smooth and peaceful. But the long-term results have always been positive, and Britain has grown richer in spirit with each wave of visitors. Britain should be proud of its history and proud (エ) its delightfully mixed-up family tree!

"British Family Tree," *English with Hit Songs* (Seibido, 2011)

問1 文中の空欄 (ア)～(エ) に適する語を①～⑤から一つ選び、答えなさい。ただし、**同じ番号は一度しか使うことができません**。なお、選択肢は文頭にくる語も小文字で始めてあります。

- ① although ② between ③ of ④ that ⑤ what

問2 文中の下線部 (A) と (B) の動詞を適切な形に直しなさい。

問3 下線部 (1)～(4) について本文に明記されていることを踏まえ、それぞれの問いの答えを①～③から一つ選び、答えなさい。

1. 下線部 (1) に関して、正しく述べているものはどれか。
 - ① かつて存在した「偉大なるイギリス帝国」のこと。
 - ② 「イギリス連合王国」の別名。
 - ③ イングランド、スコットランド、ウェールズを含む地方の総称ともいえる。

2. 下線部 (2) に関して、正しく述べているものはどれか。
 - ① 「イギリス人」の総称で、UK の人全てを指している。
 - ② UK の中でも、England の人だけを指している。
 - ③ Scotland や Northern Ireland の人も含まれている。

3. 下線部 (3) の理由として、正しく述べているものはどれか。
 - ① 自分たちは English より優れていると考えているから。
 - ② 自分たちは本来 English であることを認めたくないから。
 - ③ 自分たちは English ではないから。

4. 下線部 (4) に関して、移民の出身地ではないものはどれか。
 - ① ウェールズ
 - ② フランス
 - ③ イギリスの旧植民地

問題2 以下の会話の空欄(1)～(10)に適する語句を①～⑫から一つ選び、答えなさい。ただし、同じ番号は一度しか使うことができません。なお、選択肢は文頭にくる語も小文字で始めてあります。

Nurse : Good morning. May I (1) your full name, please?

Patient : I'm Natalie Fox.

Nurse : Thank you, Ms. Fox. Now, let me find your file here. . . . So, how are you feeling today?

Patient : I think I'm better than the last time I came here.

Nurse : I'm relieved (2) hear that. Today, you're going to have an examination before you (3) the doctor.

Patient : Okay, I think I'm ready (4) it.

Nurse : You need to go to the examination room (5) the second floor (6) this file to submit there.

Patient : I don't know where (7).

Nurse : Okay. (8) the elevator (9) there, get off (5) the second floor, and you'll find it (5) your right.

Patient : (10).

Nurse : Please come back here after the examination.

Patient : Okay. See you later then.

- ① for ② got it ③ is it ④ it is ⑤ on ⑥ over
⑦ have ⑧ see ⑨ will see ⑩ take ⑪ to ⑫ with

問題3 以下の問いに答えなさい。

問1 空欄に適する語(句)を①～③から一つ選び、答えなさい。

(1) You () such a thing.

- ① should not have done ② should have not done ③ did not should do

(2) Everyone () the fact.

- ① know ② are knowing ③ knows

(3) That is the house () I bought five years ago.

- ① when ② where ③ which

問2 それぞれの日本語の文と同意になるように [] 内の語で**必要なものを4語以上**使い、並べ替えて英文を完成させ、**その [] 内で二番目と四番目にくる語**を答えなさい。

(1) 病院に行く前に、予約しなければならない。

You have [an / appointment / before / for / make / reservation / reserve / to] going to the hospital.

(2) 深呼吸してください。

Please [a / breath / air / deep / deeply / will / take].

問3 それぞれの二文がほぼ同意になるように、空欄に**一語**を入れて完成させなさい。

(1) I couldn't see him.

He was () () sight.

(2) What made you cry?

() did you cry?

問題4 以下の問いに答えなさい。

問1 太字下線部の発音が [] の語の太字下線部と同じである語を①～⑤から**二つ**選び、答えなさい。

(1) [proud]

- ① allowance ② arrow ③ out ④ prove ⑤ true

(2) [thought]

- ① caught ② cough ③ ought ④ through ⑤ tough

(3) [climb]

- ① bomb ② jump ③ number ④ thumb ⑤ timber

問2 それぞれ以下の問いに答えなさい。

(1) 次の単語のうち、第二音節に強勢を置くものを①～⑤から**二つ**選び、答えなさい。

- ① character ② dramatic ③ entertainment ④ possibility ⑤ technology

(2) 次の会話文において、それぞれの文で**一番強く発音する単語**を書きなさい。

A : What are you going to do this weekend?

B : I'm going to see a movie.

2023 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

数学 『数学 I ・ 数学 A』

問 題 冊 子

受 験 番 号							
2	3						

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 数学『数学 I ・ 数学 A』 1 科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は 1 ～ 5 頁、解答用紙は 1 枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

数学 I ・ 数学 A(後期)

「数学 I ・ 数学 A」解答にあたっての注意事項

- 1 解答は、特に指示がない限り「0～9までの整数」か「-（マイナス記号）」を記入する形式になっています。解答が $x=30$ のとき、問題の解答部分は $x=\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}$ となっています。アの解答欄には3を、イの解答欄には0を記入しなさい。
特別な指示や選択肢がある場合は、それに従いなさい。
- 2 解答が $x=-\frac{2}{3}$ のとき、問題の解答部分は $x=\frac{\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ となっています。アの解答欄には-（マイナス記号）を、イの解答欄には2、ウの解答欄には3を記入しなさい。
- 3 解答が $x=-a-2b$ のとき、問題の解答部分は $\boxed{\text{ア}}a-\boxed{\text{イ}}b$ となっています。アの解答欄には-（マイナス記号）を、イの解答欄には2を記入しなさい。
- 4 解答が分数になる場合は、既約分数（それ以上約分できない分数）で答えなさい。また、2の解答例でも示したように、分数の分母は正の数とします。
- 5 解答に根号（ルート記号）を含む場合は、根号の中は可能な限り小さな整数で表しなさい（例えば、 $2\sqrt{8}=4\sqrt{2}$ ）。

問題1 次の問に答えなさい。

問1 次の式の分母を有理化しなさい。

$$\frac{1}{\sqrt{2}+\sqrt{3}+\sqrt{5}} = \frac{\boxed{\text{ア}}\sqrt{\boxed{\text{イ}}} + \boxed{\text{ウ}}\sqrt{\boxed{\text{エ}}} - \sqrt{\boxed{\text{オ}}\boxed{\text{カ}}}{12} \quad \text{ただし, } \boxed{\text{ア}} < \boxed{\text{ウ}} \text{ とする。}$$

問2 ユークリッドの互除法を用いて, 155694 と 121320 の最大公約数 g を求めなさい。

$$g = \boxed{\text{キ}}\boxed{\text{ク}}\boxed{\text{ケ}}\boxed{\text{コ}}$$

問3 xy 平面上の3点 $P(a, b)$, $Q(0, 0)$, $R(0, 1)$ を考え, $\theta = \angle PQR$ とおく。
ただし, $0^\circ < \theta < 90^\circ$ である。 $\cos \theta = \frac{2}{3}$ かつ $PQ = 3$ であるとき, a と b の値を求めなさい。

$$a = \pm \sqrt{\boxed{\text{サ}}}, \quad b = \boxed{\text{シ}}$$

問4 整式 $A = x^4 - 12x^3 + 34x^2 + 12x - 35$ を考える。

(1) $t = x^2 - 6x$ とおく。 $t^2 = x^4 - \boxed{\text{ス}}\boxed{\text{セ}}x^3 + \boxed{\text{ソ}}\boxed{\text{タ}}x^2$ より,

$$A = t^2 - \boxed{\text{チ}}t - \boxed{\text{ツ}}\boxed{\text{テ}}$$
 が成り立つ。

(2) $A = (x + \boxed{\text{ト}})(x - \boxed{\text{ナ}})(x - \boxed{\text{ニ}})(x - \boxed{\text{ヌ}})$ である。ただし,

$$\boxed{\text{ナ}} < \boxed{\text{ニ}} < \boxed{\text{ヌ}}$$
 とする。

問題2 10名の生徒に100点を満点とする数学の試験を実施したところ点数は

54, 67, A, 71, 80, 50, 57, 40, 42, 69

であった。ただしAは $55 \leq A \leq 66$ を満たす整数である。次の問に答えなさい。

問1 このデータの中央値をMとする。Mは、 $M = \frac{A + \boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ を満たし、 $\boxed{\text{エ}}\boxed{\text{オ}}$ 通りの値を取り得る。

問2 このデータの平均値を59.0とする。

(1) AとMの値は $A = \boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}$, $M = \boxed{\text{ク}}\boxed{\text{ケ}}.\boxed{\text{コ}}$ である。

(2) このデータの分散の値は $\boxed{\text{サ}}\boxed{\text{シ}}\boxed{\text{ス}}$ である。

問題3 自然数 m と n についての条件 p , q , r を次のように定める。

p : $m+n$ は 3 の倍数
 q : n は 6 の倍数
 r : m は 3 の倍数かつ n は 6 の倍数

次の問に答えなさい。なお、**ア** から **エ** の解答欄には、次の選択肢から適するものを選び、A から D の記号で答えなさい。同じ記号を重複して選んでもよい。

選択肢

- (A) 必要条件であるが、十分条件ではない
- (B) 十分条件であるが、必要条件ではない
- (C) 必要十分条件である
- (D) 必要条件でも十分条件でもない

問1 p は r であるための **ア**。

問2 \bar{p} は \bar{r} であるための **イ**。ただし \bar{p} と \bar{r} は、それぞれ p と r の否定である。

問3 「 p かつ q 」は r であるための **ウ**。

問4 「 p または q 」は r であるための **エ**。

問題4 四面体 PQRS を $\triangle QRS$ を底面とする四面体と考えるとき、特に四面体 P-QRS と書くこととする。

四面体 C-OAB において、 $OA = 3$ 、 $OB = 4$ 、 $OC = 4$ 、 $AB = 5$ 、 $OC \perp OA$ 、 $OC \perp OB$ とする。次の問に答えなさい。

問1 四面体 C-OAB の体積 V を求めなさい。

$$V = \boxed{\text{ア}}$$

問2 辺 AC と辺 BC の長さを求め、 $\triangle ABC$ の面積 S を求めなさい。

$$AC = \boxed{\text{イ}}, BC = \boxed{\text{ウ}}\sqrt{\boxed{\text{エ}}}, S = \boxed{\text{オ}}\sqrt{\boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}}$$

問3 $\triangle ABC$ を底面とする四面体 O-ABC の高さ h を求めなさい。

$$h = \frac{\boxed{\text{ク}}\sqrt{\boxed{\text{ケ}}\boxed{\text{コ}}}}{\boxed{\text{サ}}\boxed{\text{シ}}}$$

